



1本橋をくぐろう

♪ 遊び方

・落ちないように橋をわたり、輪をくぐります。

待ってー!

⚙️ 気をつけること

- ・橋を端から端までバランスをとりながら輪をくぐりましょう。
- ・落ちてしまったら、またそこから橋に上がって、輪をくぐりましょう。
- ・逆からは進まないようにしましょう。

こっちだよー!



のる



たつ



あるく



くぐる



ワニの川わたり

♪ 遊び方

・ボールにぶつからないように手を伸ばして這ってくぐります。

⚙️ 気をつけること

- ・友達をけらないように気をつけましょう。
- ・逆から進まないようにしましょう。
- ・腕の力だけで這ってみましょう。

ぼくがワニだぞー!!



はう



くぐる



ホップ・ステップ・ジャンプ



♪ 遊び方

・段ボールのハードルを飛んだり跳ねたりしながら移動します。

🔧 気をつけること

- ・人にぶつからないように注意しましょう。
- ・ハードルを動かした後は元の場所に戻しましょう。



とぶ



はねる



あるく

おやつをプレゼント



♪ 遊び方

- ・ササビーのおやつをめがけて、上手投げでボールを投げます。
- ・輪の間を通してもおやつは手に入ります。

🔧 気をつけること

- ・投げるときは線の外から投げましょう(届かない場合は調整可)。
- ・投げたボールは元の箱に片付けましょう。
- ・人に向かっては投げないように注意しましょう。



もつ



なげる



あてる

本ガイドブックの活用について

平成30年度「教育機能向上のための教育設備の整備」費用で、ササビー広場の整備と本ガイドブックを作成することができました。

このガイドブックは、遊びが持つ魅力を引き出す「場」と「きっかけ」をキーワードに作成しています。遊びがもつ魅力を引き出す「場」については、赤城のササビー広場・沢フィールドという「場」。荒天時の体育館等の「場」。をイメージしています。「きっかけ」は、園児のやってみたいという「きっかけ」。園児が繰り返し遊ぶ中で、想像力を膨らませ、新たな遊びの展開を引き出す「きっかけ」をイメージしています。

本ガイドブックには、保育者の皆さんが、幼児教育の基本である「環境の構成」を考えるヒントが収められています。

このガイドブックを手にしていただいている保育者の皆さんには、まずは赤城青少年交流の家へ子供たちを連れて遊びに来て頂けたらと思います。その後、園庭や園内のプレイルーム等で日常的に様々な運動遊びが広がる事を願っています。

国立赤城青少年交流の家 所長 松村 純子